

海老名総合病院

循環器内科 後期研修プログラム

① 当診療科の紹介・特徴

当科では虚血性心疾患、心不全、弁膜症、不整脈、末梢血管疾患、先天性心疾患、肺高血圧など、一般的に循環器内科で扱うすべての疾患を扱っている。特に県央地区の基幹病院として心筋梗塞などの循環器救急に力を入れており、重症患者も積極的に受け入れている。患者数、カテーテル件数は年々増加しており、2013 年は総カテーテル 1231 件、経皮的冠動脈インターベンション 409 件、下肢動脈インターベンション 70 件、不整脈に対するカテーテルアブレーション 37 件を施行した。循環器専門医は 7 名在籍し、それぞれが得意な専門分野を持ったうえで最新の知見を通じた循環器診療をしている。また、心臓血管センターとして患者が最良の治療を受けられるように常にカンファレンスを通して心臓血管外科と連携を図りながら診療をしている。

② 研修指導体制

以下のスタッフにより指導を行う。それぞれの資格と専門分野を示す。

氏名	役職	資格、専門分野
田邊 晃久	顧問	(資格) 日本内科学会認定医 日本循環器学会専門医 日本老年医学会専門医 (専門分野) 心臓病の診断と治療、不整脈、電気生理検査と治療
長岡 優多	部長	(資格) 日本内科学会認定医 日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会認定医 (専門分野) 冠動脈インターベンション
高頭健太郎	医長	(資格) 日本内科学会認定医 日本循環器学会専門医 (専門分野) 下肢動脈インターベンション
杉本 篤彦	医長	(資格) 日本内科学会認定医

		日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会認定医 (専門分野) 冠動脈インターベンション、肺高血圧、心不全
渋江 竜馬	医長	(資格) 日本内科学会認定医 日本循環器学会専門医 (専門分野) 冠動脈インターベンション、不整脈デバイス治療
岩本讓太郎	医員	(資格) 日本内科学会認定医 日本循環器学会専門医 (専門分野) 不整脈、カテーテルアブレーション、不整脈デバイス治療
円谷 斉子	医員	(資格) 日本内科学会認定医 日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会認定医 (専門分野) 冠動脈インターベンション、冠動脈画像診断
葉梨 喬芳	医員	(資格) 日本内科学会認定医 (専門分野) 虚血性心疾患、冠動脈インターベンション
島 牧義	医員	(資格) 日本内科学会認定医 日本心臓リハビリテーション学会認定指導士 (専門分野) 不整脈、カテーテルアブレーション、心臓リハビリテーション

③ 研修プログラムの概要

(ア)行動目標

- ・ 医師としての職業的倫理原則をよく理解し、診療に必要な知識、技能、判断力、態度を身につける。
- ・ 緊急を要する疾患、病態に対応できる臨床能力
- ・ 患者や家族の有する問題を身体的、心理的および社会的側面から全人的に理解し適切

に対応する。

- ・患者および家族とのコミュニケーションを十分に適切に行うことができる。
- ・チーム医療の原則を理解し、パラメディカルスタッフや他科医師など、他の医療メンバーと協調する。
- ・診療録やその他の医療記録を適切に作成する。
- ・医療に関する法令を遵守し、福祉制度を理解する。
- ・地域医療連携の理解
- ・自己評価を行い、診療の質の向上を図るように自己研鑽を積む。

(イ) 経験目標

(1) 救急外来ならびに病棟業務

上級医の指導のもと、救急外来あるいは外来からの緊急入院患者に対する初期対応ならびにその後の病棟管理を行う。具体的には、問診、身体所見、基本検査所見から必要であれば初期治療をしながら鑑別診断を列挙し、それに応じて更に必要な検査を行う様に計画を立て実行する。その際、患者、家族とのインフォームドコンセントを得る。病棟では、初期対応での検査結果から得た診断に対して、治療検査計画を立て実行する。さらに、心臓リハビリを含めた退院後の計画、患者家族への説明指導を行う。これらは、毎日実施されるカンファレンスで提示し討論を通して診察・手技・検査結果の判断および治療計画の妥当性を検証し、理解を深める。

(2) 検査治療手技

下記検査治療を状況に応じて段階的に実施する。

- ・検査室で施行する検査結果の読影ー心電図、ホルター心電図、心臓MRI、末梢動脈検査(ABI)、睡眠時ポリグラフなど
- ・上級医の指導のもと検査治療手技を術者として施行するー心エコー、経食道心エコー、運動負荷心電図(トレッドミル)、心臓カテーテル検査(冠動脈造影、左室造影、大動脈造影、スワングアンツカテーテル、肺動脈造影、心筋生検)、IABP挿入、PCPS挿入、ヘッドアップチルト試験、胸腔穿刺、心膜穿刺、下大静脈フィルター留置・抜去、一時的ペースメーカー挿入、恒久的ペースメーカー植込み、植込み型除細動器、心臓再同期療法(CRT)植込み、心臓電気生理学的検査(EPS)、カテーテルアブレーション、経皮的冠動脈形成術(PCI)、血管内エコー(IVUS)、冠血流予備量比(FFR)、経皮的血管形成術(PTA)

(ウ) 到達目標

この研修プログラムを経て、専門医取得基準を概ね達成し、それに見合う十分な知識と経験を得ることにより、倫理観を持った循環器専門医を育成することを目標とする。

④ 臨床研究・学術活動

循環器専門医の指導のもと、学術集会・研究会において症例報告を演者として年1回以上行う。学術誌への症例報告、研究論文を年1回発表することを目標とする。

⑤ 認定医（専門医）資格の取得

期間中に日本内科学会認定医を取得、日本循環器学会専門医取得基準を概ね達成し、満6年以上の臨床研修歴が必要な循環器専門医取得への準備とする。

⑥ 評価

年度終了時点で指導医により研修内容と成果について総合的に評価を行い、次年度の研修内容を修正する。

⑦ 週間予定

月曜日から土曜日朝ー心臓血管センターカンファレンス、循環器内科回診

月曜日から金曜日ター循環器内科症例・カテーテルカンファレンス、回診

月曜日から金曜日ー心臓カテーテル検査

毎月第3火曜日ター心エコーカンファレンス

毎週水曜日ター心電図講習

⑧ 研修プログラム後の進路について

後期研修医として3年間の研修を修了した後、希望者は循環器内科医員としての採用が可能である。